

事業計画書(案)

団 体 名	
事 業 名 称	
事 業 実 施 期 間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 年 月 日 ～ 年 月 日
1. 事業の目的	(1) 取り組みたい課題 (解決したい社会問題等の現状を記入すること)
	(2) 取り組みたい課題の原因 (団体が考える社会問題等の原因を記入すること)
	(3) 取り組みたい課題の解決・改善策 (事業の目的を記入すること)
2. 事業内容等	(1) 事業の対象者 (例：枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に)
	(2) 事業の実施場所 (移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること)
	(3) 事業内容
	(4) 市民への効果 (本事業がどのように枚方市民の利益となるかを記入すること)

3. 実施スケジュール	(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可
4. 事業実施の体制	(1) 人員体制 (事業実施にあたり必要と想定される人員を記入すること)
	(2) 事業対象者の見込み数(例:参加者●名など現時点の想定人数を記入すること)
	(3) その他の体制(寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること)
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること)
6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	
7. 事業効果の測定方法	(事業目的を達成できているか等の確認方法を記入すること)
8. 事業のPR方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)
9. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 有り(申請中を含む) ・ 無し(本補助金のみ) 助成金等の名称() 申請中の場合、申請結果が確定する予定日(令和 年 月 頃の見込み)
10. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	

事業計画書(案)

団 体 名	特定非営利活動法人●△■○▲□
事 業 名 称	みんなを笑顔にする農園・夏休み販売体験プロジェクト事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和5年4月1日～令和6年3月31日
1. 事業の目的	<p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●●地区で活用されていない田畑が増加 農作業に接する子どもが減っている 世代間の地域交流が減っている <p>(2) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作業従事者の高齢化や後継者不足 子どもや高齢者を取り巻く生活環境の変化 <p>(3) 取り組みたい課題の解決・改善策(事業の目的を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活用されていない田畑を借用し、市民農園として活用する 地域の児童や高齢者が参加・交流できるイベントを開催する
2. 事業内容等	<p>(1) 事業の対象者(例:枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作業に興味のある人(居住地は問わない) ●●地区の小学生及び市民 <p>(2) 事業の実施場所(移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●●地区の田畑(枚方市●●近辺) ●●地区集会所(枚方市●●) <p>(3) 事業内容</p> <p>農作業体験に興味のある人を募集し、未活用の農地を借用した市民農園を開園する。</p> <p>参加者の募集は、●●地区の小学生を対象にも行い、一部の収穫した作物を使用した夏休みの販売体験会を開催し、地元の小学生や地域の高齢者が交流できるイベントを開催する。</p> <p>(4) 市民への効果(本事業がどのように枚方市民の利益となるかを記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未活用の田畑が減少し、農作業の担い手の育成や地域理解の促進する 世代間の交流が促進し、地域に賑わいの場が生まれる

<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 借用地の調整・参加者募集・説明会などの準備 ・5月 市民農園オープン ・6月 地元小学校で夏休みイベントの参加者募集 ・7月～8月 地元小学生を含めた農作業・夏休み販売体験会を開催 ・9月～3月 事業成果の集約・整理、次年度に向けた準備
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(1) 人員体制 (事業実施にあたり必要と想定される人員を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園スタッフ：5名 ・事務スタッフ：2名 ・小学生コーディネーター：4名 ・販売体験会スタッフ：4名 <p>(2) 事業対象者の見込み数(例：参加者●名など現時点の想定人数を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園参加者：大人10名、子ども20名 ・販売体験会参加者：子ども20名、その他50名 <p>(3) その他の体制(寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体：○○地区自治会、○○小学校、NPO法人○○ ・寄附者：○○地区商店組合、JA○○
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること)</p> <p>財源の確保策として、地元企業への寄附のお願いを行うとともに、民間助成の活用を検討する。賛同者の確保として、○○イベントに参加する。</p>
<p>6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み</p>	<p>他市で取り組まれている市民農園の事業に参加し、運営のノウハウを蓄積するとともに、借用地の所有者と交渉し、協力を取り付けた。</p> <p>○○地区の農作業体験会を令和3年度に2回開催した。</p>
<p>7. 事業効果の測定方法</p>	<p>(事業目的を達成できているか等の確認方法を記入すること)</p> <p>参加者に対し、事業前・事業後のアンケート調査を行い、事業の感想を求めるとともに、農作業や世代間交流への参画意識の推移を測定する。</p>
<p>8. 事業のPR方法</p>	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)</p> <p>地元の小学校や自治会を通じて参加者を募る</p> <p>各種SNSで発信を行い、地元情報誌へ募集広告を行う</p>
<p>9. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定</p>	<p>助成金等の予定 <input checked="" type="checkbox"/> 有り (申請中を含む) ・ 無し (本補助金のみ)</p> <p>助成金等の名称 (公益財団法人■■■■■の▲▲基金)</p> <p>申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和5年3月頃の見込み)</p>
<p>10. その他</p> <p>※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	<p>他市で取り組まれている市民農園や過去の農作業体験会の記録を添付します。</p>

事業計画書

団 体 名	
事 業 名 称	
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 年 月 日 ～ 年 月 日
1. 目的	(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること)
2. 事業内容等	【①対象者】 【②実施場所】 【③事業内容】
3. 実施スケジュール	

